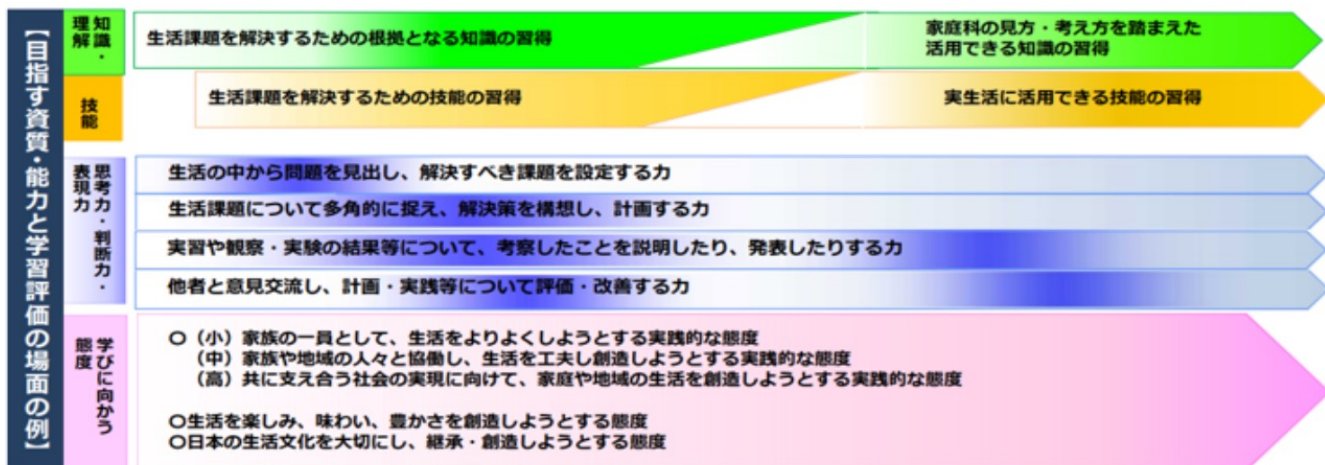
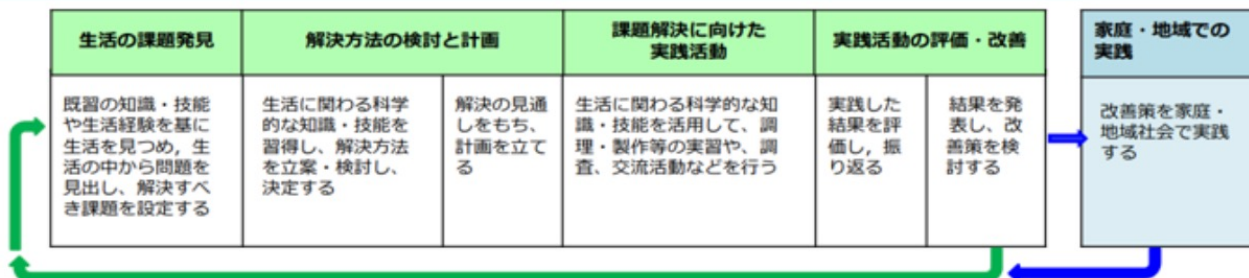
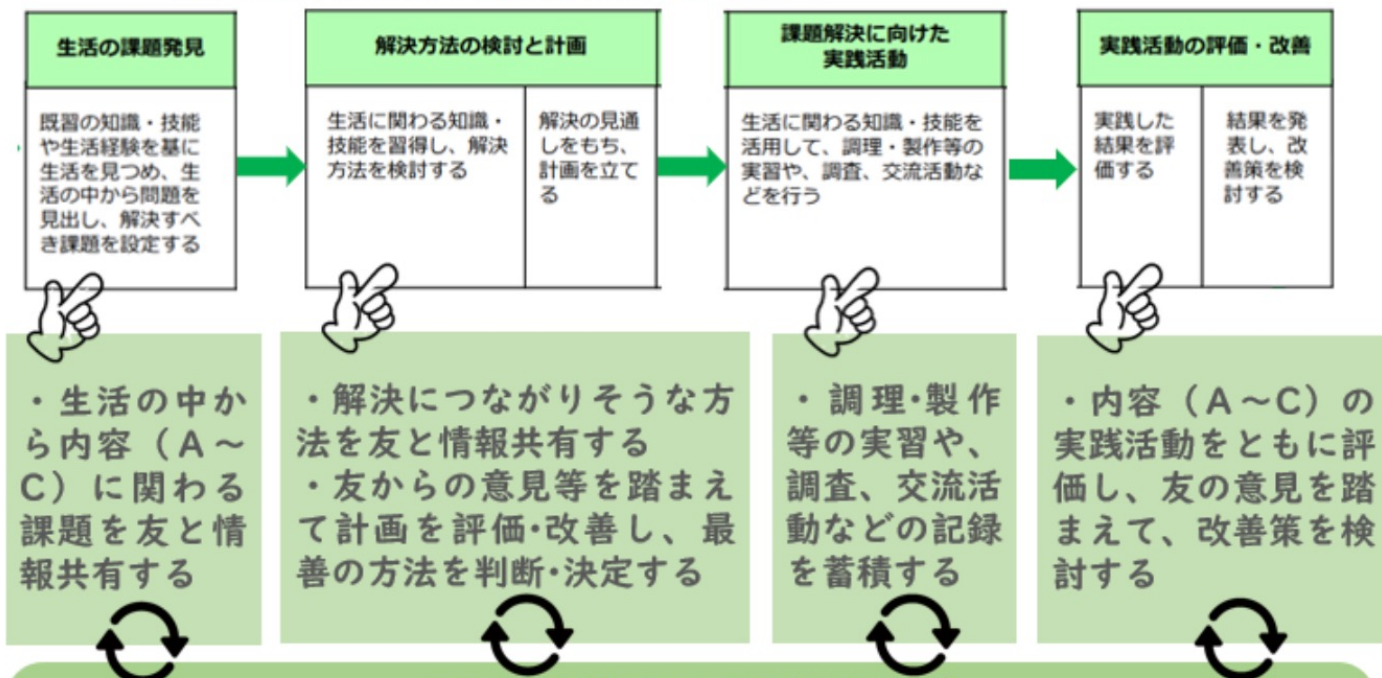


家庭、技術・家庭（家庭分野）

家庭科，技術・家庭（家庭分野）の学習過程のイメージ



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと



クラウドを活用した同時共同編集

- ★自分で考えた解決方法や計画をアウトプットし、友に意見を聞いてみる
- ★単線的な問題の解決にならないよう、複数の意見を参考にする
- ★蓄積した実践活動記録をもとに振り返り、さらに改善策を模索する

学年・題材名：小学校6年・家族への思いをこめたこんだてを立てよう

見方・考え方：家族のための献立を健康の視点で捉え、見直し工夫すること
ICTの活用：4つの観点から献立を見直すことができるように付箋機能を活用した献立表

学習場面：テーマに合った献立をクラウド上の献立表に作り、友とアドバイスをしながら改善している場面

協働で「整理・分析」し「まとめ・表現」につなげる学びへのイメージ
家族のための献立を4つの観点「栄養バランス」「色どり」「調理方法」「味付け」から、再度見直し、友だちの意見も参考にしながら各自が設定したテーマに合った最善の献立を立て、家庭実践への見通しがもてる

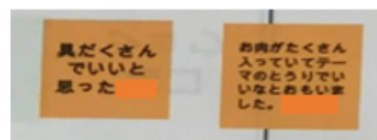


写真①

- ・使う食品を「3つのグループ（エネルギーのもと、体をつくるもと、体の調子を整えるもと）」の観点で整理できる献立表を用意して、クラウド上で献立を考える。
- ・使う材料や組み合わせに迷ったときは、作成中の友だちの献立を参考にする姿が見られた。

写真②

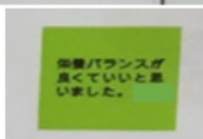
- ・各自の作った献立をクラウドを介して班員と共有し、さらにテーマに合った家族のための献立になるよう意見交換する。
- ・献立表に整理された食材を互いに見合い、栄養バランスの視点から食品数について検討したり、食欲がより増すように仕上りの色どりについて相談する姿が見られた。



写真③④

- ・クラウドで共有した献立表には、友だちのアドバイスが付箋で貼られているので、いつでも参考にできる。
- ・付箋の意見を参考にして、汁物で野菜を増やすなど栄養バランスを視点を検討する姿が見られた。

③



この事例のポイント

- ・付箋機能を応用して、食材カードを作り、献立表に並べて、自由に検討することができるようにしています。
- ・持ち帰った端末で、クラウド上の献立を家庭で見ることができるので、家庭実践などで活用ができそうです。

